

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	いびがわアップル		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43名	(回答者数) 43名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 1日		～ 令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月3日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・小規模のため指導後、保護者に指導の様子やお子さんの現状や今後の成長目標について話す時間を確保することを意識している。	・できる限り保護者の方に参観をしていただけるような環境と声掛けを行っている。	・保護者の方の参観にばらつきがある。指導を見ていただきお子さんの現状と成長課題について具体的に共有していけるとより良い療育指導と家庭支援につながるのではないかと考えています。
2	・町立の事業所であるため町立の幼稚園との連携や支援計画作成の際にはお子さんの幼稚園での様子の情報提供をいただき計画に反映できている。また、適宜幼稚園訪問をし関係機関が連携してお子さんにかかわることができている。	適宜お子さんの様子を参観したり園と情報交流している。	・療育の様子を園の先生に参観してもらう機会を意図的に作りさらなる情報交流に努めたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者会を設置していないので保護者同士のかかわりや相談の場が十分に確保できていないように感じている。	・座談会では保護者の方が皆さん就労しているということもあり参加率が低いことが課題である。日程の工夫が必要だと考えている。	・開催の日程を調整や保護者が参加したいと思える内容を提案していくことが必要と考えます。
2	・訓練室が既定のスペースはあるが天井が低かったり狭いので子どもたちの体力作りには今後工夫がより必要になってくると考える。	・療育施設として建設されていないので、今後部屋の使用方法についての工夫が課題である。	・戸外を活用して伸び伸びと活動できる環境を提供していくことを常に考える。
3			